

行雲流水

No.102 令和3年9月29日発行

次なる「おのれの力」を試すチャンス

校長 寒河江 正人

10月4日（月）5日（火）は、2学期中間テスト。

「定期テスト」も「**おのれの力を試す機会**」、すなわち「**試合**」である。
これまで「**学び、鍛え、磨いてきた自分の力**」を試す「**試合の場**」なのである。

一昨日、昨日の「振替休業日」、2日間をどう使ったかな？

賢明な生徒諸君は、「**適度な休養**」で疲れをとり、**気分転換**を図りながらも、
2学期中間テストに向けた「**家庭学習のフランニング**」を確認・点検したはずだ。
つまり、「**先んずれば、すなわち人を制す**」なのである。

もしも、まだ動き始めていないとしても、大丈夫。**今日から、すぐ行動を開始**しよう！

まず、「**中間テストに向けた学習計画**」は、曖昧な計画になっていないかな？

あらかじめ「自分で、自分なりの見通しや学習ペースをつくる」ことができているかな？
できていないなら、「**自分なりの見通し・学習計画の最終点検**」をすぐにしよう！

「**担任の先生や教科の先生からのアドバイスをもらう**」のもいいだろう。

「**テストに向けた学習の進め方が上手いクラスメイトに相談する**」のもいいだろう。
もう一度言う。「**先んずれば、すなわち人を制す**」なのである。

ただし、**ここから「1週間の学習計画」**は、いつも順調に進むとは限らない。

見通しが甘かったり、「**様々な誘惑**」に負けて、計画どおりに進まなくなることもある。
そんな時は、ぐずぐず引きずるな。頭と気持ちを切り換えて、**計画を修正**し、立て直せ！

「**私たち一人ひとりに与えられた時間には限りがある。**」

「**時間は平等に与えられるが、その使い方と効果は、その人次第なのだ。**」

「さき先んずれば、即ちすなわ人を制し、後おるれば、即ち人の制せらるる所ところと為る。」

「史記」 項羽本紀より

(他人よりも自分が先に行動することで、相手を制圧することができるが、
他人に遅れをとってしまい、後手に回ってしまうと、相手に制圧されることになる。)